

自治連 たま

■発行 多摩市自治連合会
 ■編集 自治連広報委員
 (事務局) 多摩市役所
 コミュニティ・生活課内
 〒206-8666 多摩市関戸六丁目12番地1
 TEL 042(338)6892 FAX 042(337)7660
<https://www.city.tama.lg.jp/0000002702.html>
 令和5年3月20日

会長挨拶

多摩市自治連合会 会長
 田村 清太郎



会員の皆様 お元気でお過ごしでしょうか。決して良い社会情勢というわけではありませんが、明るい多摩市づくりに自治連としても、努力して参る所存です。ここ数年、年間行事がことごとく中止になり、皆様には大変申し訳なく、また残念な思いをされた方々も多いと思いますが、なんとか通常の形態に戻せるよう、役員一同願っております。また、より良い多摩市づくりをとお考えの皆様、自治連役員として、一緒に実現に向けていこうではありませんか。お待ちしております。それでは健康に留意しコロナに負けず、皆様共に頑張りましょう。

学習会開催

講演テーマ

これからの50年に向けて、この10年間で特に力を入れていく市政課題

令和5年2月4日(土)に多摩市立関戸公民館大会議室にて、多摩市自治連合会主催の学習会が開催され、多摩市内の自治会・町会及び管理組合から21団体30名が参加されました。

当日は、阿部裕行多摩市長より「これからの50年に向けて、この10年間で特に力を入れていく市政課題」と題して、環境共生型都市、健幸都市、地域協創、庁舎の建て替え等についてご講演いただきました。

街の未来を創造する～イメージムービーとして多摩ニュータウンのコンセプトムービー「らしさがうまれる。多摩ニュータウン」の公開についてのお知らせから始まり、阿部市長は、50周年という契機に高齢者が多い街というイメージから脱却し、緑とゆとりにあふれる街で長く住み続ける方が多い街でありながら、創造的で個性的な生活を送る若い世代が活動する街でもある新しい多摩ニュータウンを発信していくこと、未来シナリオを構築することで時代対応力を強化していくことを話されました。また、2050年度を見据えた地域再エネ導入目標の策定と地域の再エネ設備導入ポテンシャル等の調査の検討実施について発表されました。多摩市の脱炭素実現のためには、市民・企業・自治体が一丸となって取り組む必要があり、三者が協力しながら脱炭素に向かう取組や仕組み作りを進めていくと話されました。

次に、これまで進めてきた多摩市自治基本条例の「参画」「協働」から「協創」へと考え方を変え、「地域協創」の新たな仕組みが必要との話がありました。(この項目は田島担当部長より説明)

地域協創の3つの柱は、地域を「支える」、地域を「つなぐ」、地域の中で「掘り起こす」で、具体的には地域担当職員などの支援制度の導入、プラットフォームの構築、新たな担い手の発掘育成の機会・支援機能の強化の取組について説明がありました。

最後に、多摩市役所本庁舎建替基本構想(案)について、その経緯、建設規模、建設位置、事業費、将来の市役所全体のサービス提供の姿について話されました。昨年度から基本構想策定の検討を開始し、令和11年度までに建替えることを目指して、市民等の意見を踏まえて検討を進めているとの説明がありました。



講師
 多摩市長 阿部 裕行 様



新年情報交換会の実施

開催日時	令和5年1月29日(日) 18時開会
会場	多摩永山情報教育センター 講堂
参加者	17団体 39名(顧問・来賓等含む)



新型コロナウイルスの感染を考え開催賛否を議論の末、3年ぶりの開催が実現しました。

田村会長の酒・食なしの新年情報交換会であるとの挨拶から始まり、当連合会顧問の阿部市長、いいじま市議会議長、千葉教育委員会教育長よりそのお立場から市政の状況や新年の抱負についてご挨拶を頂きました。

来賓代表では宮本消防署長から年頭所信表明と救急安心センター「#7119」利用法のお話がありました。

また、時節柄乾杯の音頭はありませんでしたが、参加者の方々は和気藹々と貴重な情報交換をされていました。

恒例のとおり途中からビンゴゲームが行われ、抽選器の玉が会場に飛び出すハプニング、ビンゴ成立の歓声、大きな会場での声を発しての笑顔は、久しぶりの大勢の人々が一堂に会してこそ得られる感動の一時でした。

菊川副会長のお礼の言葉をもって新年情報交換会は完了できました。

スポレク2022の実施

開催日時	令和4年11月13日(日) 午前9時20分~12時40分
会場	多摩市立総合体育館
参加者	10団体 15チーム 126名 スマイルキッズバトンクラブ 20名 合計146名
競技種目	5種目(輪投げ、ストラックアウト、ディスクゴルフ、玉入れ、ダーツ)
表彰	<p>総合表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優 勝：馬引沢自治会② (38点) ・準 優 勝：中和田自治会② (36点) ・3 位：都営住宅聖ヶ丘1丁目アパート自治会 (36点) ・特 別 賞：愛宕2丁目住宅管理組合① (22点) ・ブービー賞：上乞田自治会 (24点) <p>種目賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪投げ：一ノ宮自治会① (45点) ・ダーツ：都営住宅聖ヶ丘1丁目アパート自治会 (156点) ・ストラックアウト：東寺方自治会 (13点) ・玉入れ：一ノ宮自治会① (33点) ・ディスクゴルフ：馬引沢自治会① (16点)



今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、時間を短縮しての午前開催とし、1チーム当たりの参加人数も少なくなりました。また、競技種目の見直しも行き、誰もが参加しやすい5種目に絞り、例年よりも規模を縮小しての実施となりました。

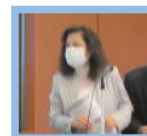
今回新たな競技種目となった「ストラックアウト」では、参加者の皆様も初めて競技する方が多く、やや緊張した雰囲気がありましたが、見事パネルを打ち抜くと歓声が上がリ、盛り上がりのある競技となりました。参加者の中には、5球全てを命中させる強者も登場し、拍手が沸き起こる展開となりました。

競技後には、スマイルキッズバトンクラブの演技。コロナ禍で練習も難しい中、素敵な演技をご披露いただき、多くの参加者の皆様にも「観るスポーツ」として夢中になれる楽しい時間となりました。

コロナ禍では例年どおりの開催が難しく、令和2・3年度は開催中止とさせていただきましたが、今回は感染防止策を講じた上で3年ぶりに開催することができ、大変感謝しております。スポレクの開催に当たりまして、スポーツ推進委員の皆様、スタッフの皆様にご多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございました。次年度も誰でも楽しめる「スポレク」の開催に努めて参ります。

合同部会

予定していた会場収容人員
いっぱい参加者でした！！



他の団体の参考となる事例発表
ありがとうございました！

令和4年12月3日(土)午後1時半～多摩市立関戸公民館大会議室にて多摩市自治連合同部会が開催されました。今回の合同部会は、「自治会・管理組合における災害発生時に備えた自主防災活動の現状取組」についてのアンケート調査報告書を題材にして、調査報告と事例発表を基に課題の共通認識形成を図ると共に課題解決に向けた意見交換を行い、課題解決への方向性と具体的活動の実践の提案に結び付けていくことを狙いとして開催されました。

33団体44名が参加され、参加者アンケートの結果を見ると(アンケート回収率93.2%)、令和4年2月に実施した自主防災関連アンケート調査結果報告の内容については、『とても良い』と『良い』との回答が97%、事例発表内容についての同様回答が100%を占めました。今回合同部会の開催時間については適切との回答が100%を占め、令和4年2月のアンケート調査実施～7月のアンケート調査報告書の発行～12月の合同部会での結果報告発表に対し、会員の皆さんから多くの支持が得られる結果となりました。

また、参加者アンケートの中で、今後、部会で取り上げて欲しいテーマはどれか尋ねたところ、回答が多かったのは以下の内容でした。

Q 今後、部会で取り上げて欲しいテーマは？	回答数	割合
1. 役員等の高齢化に伴う自治会・管理組合活動の低迷、なり手不足の課題	32件	78%
2. 地域の見守り活動の現状と課題	14件	34%
3. 会員の加入率低下の現状実態と課題	13件	32%

その他、地区防災連絡会結成の補助・助成金、防災ボランティアの高齢化対策、高齢者の見守り支援等についての回答がありました。今後も年度事業計画の合同部会開催検討において、これらの課題に関連するテーマを採り上げて今回参加者アンケートで回答が多かった以下の形式での開催を検討して参ります。

Q どのような形式で部会を開催したいですか？	回答数	割合
1. 市内の自治会・管理組合による活動事例発表会(今日の合同部会の後半)	16件	39%
2. 講師による講演会(テーマに沿った専門家による講演会)	14件	34%

アンケート調査報告書



アンケート調査報告書は、多摩市公式ホームページに掲載しています。また、以下の2次元バーコードからもご覧いただけます。



◇避難所運営訓練の実施状況

今年度の避難所運営訓練の実施状況は、防災安全課が把握している範囲で右表の4ヶ所の避難所での訓練実施にとどまっています。

2019年度の訓練実施避難所が8ヶ所(2022年7月自治連アンケート調査報告書)あったのに比べて半減しており、コロナ感染が大きく影響しているものと推測されます。

多摩市では、自主防災組織への訓練支援として、各自主防災組織が訓練を行う際に、必要な物品の支給、貸出をしているほか、地域の連携を深めるために2つ以上の自主防災組織や防災連絡協議会が合同で訓練を実施する場合、その訓練経費の一部として5万円を限度に助成金を交付しています。多摩市の指定避難所は34ヶ所ありますが、避難所運営訓練を実施している避難所は数少ない状況です。是非、市の防災助成金制度を活用して避難所運営訓練の実施に向けて取組を進め、いざという時に備えて参りましょう。

<避難所運営訓練実施拠点>(2023年1月20日現在)

実施日時	避難所	参加人数(申請時)
10/8	連光寺小学校	558人
11/5	永山小学校	180人
11/13	聖ヶ丘中学校	150人
11/20	瓜生小学校	200人

(中止)

11/20	東寺方小学校	中止
-------	--------	----

多摩市自治連合同会に加入しませんか？

多摩市自治連合同会は、市に設立の届出をされている自治会・町会・管理組合のうち、112団体が加入しています。

令和4年度は、当会に加入していない団体でも参加できる事業として、「合同部会」を実施しました。今年度の合同部会は、33団体にご参加いただきましたが、そのうちの4団体は当会に未加入の団体様でした。「そもそも自治連合同会ってどんな活動をしているのか？」と疑問を持たれる方もいらっしゃると思いますので、まずは、当会の事業を体験していただき、その事業の雰囲気や活動内容について触れていただけますと幸いです。是非、多摩市自治連合同会へのご加入をご検討いただき、地域活動の促進や地域課題への取組など様々な問題に、共に取り組んで参りましょう！

地域防災 (永山小・多摩永山中防災連絡会訓練)

地域の防災訓練について
ご紹介します！

未曾有の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、ここ数年間は訓練中止を余儀なくされました。

永山地区の多摩市指定避難所を中心とした永山小・多摩永山中合同防災訓練を令和4年11月5日(土)に実施しました。合同訓練は、永山小学校と多摩永山中地区の自治会・管理組合が中心になり、いざ災害時にそなえて「顔見知りになる」をテーマに、「できることから始めよう」とした訓練です。

当連絡会の防災訓練の特徴としては、避難場所の永山小学校の「防災授業の日」と合同に実施して、地域と学校が一体となつての訓練です。なかでも、同校の6年生は、防災授業のあと、それぞれの地域の参加者の一員として訓練に参加しました。主な参加指導・協力を頂いた団体は、東京消防庁多摩消防署、多摩市防災安全課、多摩市消防団第3分団、多摩市消防団第7分団、多摩市防火女性倶楽部瓜生支部(令和3年度で諸事情により解散)、同永山支部、多摩市社会福祉協議会等です。

訓練当日は午前10時訓練開始を前に、午前8時から多摩市消防団第3分団が消防団のポンプ車で本日の訓練実施について消防団員が地域を広報してまわりました。訓練内容については、AED使用訓練、スタンドパイプ使用模擬訓練、吹き出し訓練、煙体験、隔壁版破壊訓練、消火器使用模擬訓練などです。

訓練実施に伴う諸費用につきましては、多摩市防災安全課の2団体以上の自主防災組織の団体に対して、訓練実施に出る助成金の5万円をフルに活用させていただき、ベスト、ヘルメット、訓練用消耗品等の購入費にあて、年度毎にすべて100%使用し円滑な訓練実施を目指しています。訓練当初に比較して、「誰がなにをやるべきか」、それぞれが理解されてきた感じがします

今回の合同訓練については、多摩テレビが事前の役員会の様子から当日の訓練の様子を取材した他、後日福岡会長と下野(相談役)が合同訓練立ち上げの経緯等についてスタジオで取材を受けました。その様子は同テレビの「安全安心プラス」の番組で「自助・共助の力を高めよう」というテーマで12月4日から同月31日まで放映されました。

当日の各訓練ブースで人気のあったのは、スタンドパイプ使用訓練です。同パイプは、毎分100ℓの水を放水するもので、実際に筒先をもって放水を実体験することができ、参加者の小学生からは歓声があがりました。8か所の訓練ブースでは、どの参加者も真剣なまなざしで、訓練に取り組む様子が伺えました。今回の訓練の積み重ねが、大災害の際に必ず減災につながることを信じて、訓練内容の次なるステップを地域の皆様と模索していく所存です。

今年は1923年9月1日午前11時58分32秒に南関東で発生した関東大震災から100年の節目の年にあたります。10万5千人もの犠牲者を出した大震災でしたが、過去の悲惨な被害を繰り返さない為に防災訓練を実施し、減災に努める気持ちを新たにしたい一日でした。

結びに、物理学者の寺田寅彦さんの古い諺の警句に『天災は忘れたころにやってくる』『備えあれば憂いなし』を添えて終わります。
<記：多摩市自治連合会副会長 下野 陽一>



令和5年度 定期総会のご案内

定期総会
開催日：令和5年6月3日(土)
会場：多摩永山情報教育センター講堂
時間：午後1時～3時

懇親会
開催日：令和5年6月3日(土)
会場：多摩永山情報教育センターあゆみ
時間：午後3時～4時

*詳細については、団体代表者様宛に後日お知らせいたします。

編集後記

新型コロナウイルスの苦難も3年経過、依然として多数の新規感染者が発生しているものの行動規制は緩くなり日々の生活に戻つつあります。長い間スポーツ観戦やイベントの中止、会議のリモート対応などを余儀なくされました。人々が1つの会場に集まり、その中の息遣いや雰囲気を感じてこそスポーツ観戦やイベントの醍醐味があり、リアルな会議で成果を実感し易い。これらの体験を通して、人々の活動にはいかに人と人との直接の交流が不可欠かを思い知らされたのではないのでしょうか。自治連としては、会員の皆様が会場に足を運び一堂に会しての学習会、講演会、合同部会やスポレク等の企画を通して、会員の皆様の交流の機会拡大に一層積極的に努めていく必要があると心新たにしている次第です。
(広報委員 横山・伊藤)